

S&P Dow Jones Indices

A Division of **S&P Global**

世界産業分類基準 (GICS®) メソドロジー

2020年10月

この資料は翻訳版です。原文（英語版）と内容の相違がある場合は英語版の内容をご参照下さい。英語版は www.spdji.com よりご覧いただけます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス：指数メソドロジー

目次

はじめに	2
GICS メソドロジー	3
GICS 分類	3
GICS ストラクチャー	3
GICS の維持	5
GICS のレビュー	5
GICS ストラクチャーのレビュー	5
GICS ストラクチャーの変更	6
イベントの年表	6
GICS のガバナンス	8
GICS メソドロジー委員会	8
S&P Dow Jones Indices 免責事項	9

はじめに

世界産業分類基準（以下、「GICS®」という）は、先進国及び開発途上国を含む世界中の企業を一貫して分類するように設計されています。

世界有数の指数プロバイダーである S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスと MSCI は 1999 年に共同で GICS を開発し、企業をセクター及び産業に分類するためのグローバル基準を定めました。GICS は、完全かつ一貫性のある一連のグローバルなセクター及び産業の定義に対する世界の金融コミュニティのニーズに応じて開発され、これにより、国、地域、世界全体にわたり企業、セクター、及び産業ごとに比較を行うことが可能になりました。

GICS メソドロジーは、投資リサーチ、ポートフォリオ運用、及び資産配分のための産業分析の枠組みとして広く受け入れられています。GICS 分類システムは、11 のセクター、24 の産業グループ、69 の産業、及び 158 の産業サブグループで構成されています。現在の GICS のセクターは以下の通りです：

- 一般消費財・サービス
- 生活必需品
- エネルギー
- 金融
- ヘルスケア
- 資本財・サービス
- 情報技術
- 素材
- 電気通信サービス
- 公益事業
- 不動産

GICS メソドロジー

GICS 分類

GICS では、企業をその主要な事業活動に従って分類しています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及び MSCI は企業の主要な事業活動を判断するための主な尺度として売上高を使用しています。ただし、収益及び市場認識も分類上の重要な要素であるため、これらはレビュー・プロセスにおいて考慮されています。

企業は、企業の売上高の大半を生み出している事業活動を最も厳密に説明している産業サブグループに分類されます。ただし、企業が 2 つ以上の大きく異なる事業活動に従事し、いずれの事業活動も売上高の 60% 以上に寄与していない場合、売上高及び利益の大半を提供している産業サブグループに分類されます。企業の売上高及び利益の大半を提供している産業サブグループが存在しない場合、「コングロマリット」産業サブグループ（資本財・サービス・セクター）または「マルチセクター持株会社」産業サブグループ（金融セクター）のいずれかに分類されます。

新たに設立された企業の場合、当初の分類は、主に企業の設立趣意書に記載されている企業の事業活動やプロフォーマ財務書類の説明に基づきます。

仮にある企業の子会社がある報告政府機関に独立した財務書類を提出する場合、その子会社は独立した事業体と見なされ、GICS メソドロジーに基づき独立して分類されます。企業に直接関連する株式はその企業と同じ分類となります。

GICS 分類は、ミューチュアルファンド、クローズドエンド型ファンド、債券、または上場投資信託（ETF）に割り当てられることはありません。

GICS ストラクチャー

GICS では、主な事業活動の定義に従って各企業を産業サブグループに割り当てるとともに、対応する産業、産業グループ、及びセクターに割り当てます。各階層ごとに厳密な分類が行われるため、企業は 4 つの各レベルでそれぞれ 1 つのグループにだけ属することになります。

- 11 のセクター
- 24 の産業グループ
- 69 の産業
- 158 の産業サブグループ

GICS 分類はテキストまたは数値のフォーマットのいずれかで表すことが可能です。各企業についての完全な GICS 分類はテキスト記述を伴う 8 桁のコードです。8 桁のコード・システムの階層設計により、GICS の階層間での容易な移行が可能になります。

例：

セクター： 一般消費財・サービス (GICS コード：25)

産業グループ： 消費者サービス (GICS コード：2530)

産業： ホテル・レストラン・レジャー (GICS コード：253010)

産業サブグループ： カジノ・ゲーム (GICS コード：25301010)

セクター： 金融 (GICS コード：40)

産業グループ： 各種金融 (GICS コード：4020)

産業： 資本市場 (GICS コード：402030)

産業サブグループ： 投資銀行・証券会社 (GICS コード：40203020)

最新の GICS マップ及び定義については、弊社ウェブサイト www.spdji.com をご覧ください。

GICS の維持

GICS のレビュー

企業の GICS 分類は少なくとも年 1 回レビューされます。また、GICS 分類に影響を及ぼす可能性のあるコーポレート・アクションについても常に監視されています。

一般に、企業の主な事業活動を再定義する重要なコーポレート・アクションが生じた場合にはいつでも、企業の GICS 分類は変更になります。企業が一連の小規模なイベントを通じて主な事業活動を再定義していないかどうかを確認するために、少なくとも年 1 回のレビューが実施されます。安定した産業分類を行うために、企業の様々な事業活動の結果に伴う一時的な変動を無視することにより、企業の分類の変更は最小限に抑えられます。

GICS のレビューは顧客の要請に応じて実施されることもあります。

GICS ストラクチャーのレビュー

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及び MSCI は毎年 GICS ストラクチャーをレビューします。これには通常、市場参加者との公開の相談が含まれます。その目的は GICS ストラクチャーが継続的にグローバル株式市場を正確に表し、これにより、産業別にシームレスな比較をできるようにすることです。

GICS ストラクチャーの変更

4階層のGICSストラクチャーは現在のグローバルな投資環境における株式を正確に表しており、さらに今後の動向を捉えるのに十分な柔軟性があります。8桁のGICSコード・システムは変化する投資環境に対して容易に適応するように設計されています。世界経済が変化するに従って、セクター、産業グループ、産業、及び産業サブグループを追加または分割することが可能です。

イベントの年表

年月	GICS イベント
1999年8月	GICSの導入。GICSは10のセクター、23の産業グループ、59の産業、及び123の産業サブグループで構成。
2002年3月	GICSストラクチャーにおける産業サブグループの総数が123から122に減少。その他のGICSカテゴリーの名称及び説明の変更。GICSは10のセクター、23の産業グループ、59の産業、及び122の産業サブグループで構成。
2003年4月	新しい産業グループ、産業、及び産業サブグループの創設、いくつかの既存の産業サブグループの合併、及びその他の大幅な名称や定義の変更などの変更。GICSは10のセクター、24の産業グループ、62の産業、及び132の産業サブグループで構成。
2004年4月	一部のGICS産業サブグループに関する定義変更に限定された変更。GICSは10のセクター、24の産業グループ、62の産業、及び132の産業サブグループで構成。
2005年4月	1つの産業グループの名称変更及び再定義や、2つの産業及び7つの産業サブグループの創設、その他の大幅な名称や定義の変更などの変更。GICSは10のセクター、24の産業グループ、64の産業、及び139の産業サブグループで構成。
2006年4月	1つの産業グループの名称変更や、4つの新しい産業及び10の新しい産業サブグループの創設などの変更。1つの産業及び2つの産業サブグループの廃止や、その他の名称及び定義の変更などの変更。GICSは10のセクター、24の産業グループ、67の産業、及び147の産業サブグループで構成。
2008年8月	1つの産業グループの名称変更や、1つの新しい産業及び8つの新しい産業サブグループの創設などの変更。1つの産業サブグループの廃止や、名称及び定義の変更などの変更。GICSは10のセクター、24の産業グループ、68の産業、及び154の産業サブグループで構成。
2010年6月	定義のみの変更。GICSは10のセクター、24の産業グループ、68の産業、及び154の産業サブグループで構成。
2014年2月	4つの産業の名称変更、1つの産業の廃止、6つの新しい産業サブグループの追加、4つの産業サブグループの廃止、及びその他の名称や定義の変更などの変更。GICSは10のセクター、24の産業グループ、67の産業、及び156の産業サブグループで構成。
2016年9月	不動産セクターの追加や、1つの産業グループ、3つの産業、及び15の産業サブグループの追加などの変更。1つの産業グループ、2つの産業、及び14の産業サブグループの廃止。1つの産業及び1つの産業サブグループの名称変更、2つの定義変更。GICSは11のセクター、24の産業グループ、68の産業、及び157n産業サブグループで構成。

年月	GICS イベント
2018年9月	<p>今回の変更では、電気通信サービス・セクターがコミュニケーション・サービス・セクターに改称されました。また、メディア産業グループは一般消費財・サービス・セクターから除外され、メディア・娯楽の名称でコミュニケーション・サービス・セクターに追加されました。メディア・娯楽産業グループの下に3つの産業が創設され、その3つの産業の下に合計7つの産業サブグループが創設されました。情報技術セクターの下にあった2つの産業サブグループが廃止され、1つが新たに創設されました。いくつかの定義が見直されました。GICSは、11のセクター、24の産業グループ、69の産業、及び158の産業サブグループで構成されています。</p>

GICS ストラクチャーの変更に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト www.spdji.com をご覧ください。

GICS のガバナンス

GICS メソドロジー委員会

GICS メソドロジー及びストラクチャーは、GICS 運営委員会の全体的な監督下にあります。同委員会は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及び MSCI の双方からの委員会メンバーで構成されており、現在及び関連のメソドロジーを維持するため、必要に応じて金融市場コミュニティとの相談を実施します。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及び MSCI は、GICS ストラクチャーの変更や潜在的に市場に影響を及ぼし、かつ重要となる関連事項に関する情報を検討します。したがって、委員会の議論は全て機密となっています。

GICS に関する詳しい情報については、index_services@spglobal.com までお問い合わせください。

S&P Dow Jones Indices 免責事項

Copyright © 2020 S&P Dow Jones Indices LLC。無断複写・転載を禁じます。STANDARD & POOR'S、S&P、S&P 500、S&P 500 LOW VOLATILITY INDEX、S&P 100、S&P COMPOSITE 1500、S&P MIDCAP 400、S&P SMALLCAP 600、S&P GIVI、GLOBAL TITANS、DIVIDEND ARISTOCRATS、S&P TARGET DATE INDICES、GICS、SPIVA、SPDR および INDEXOLOGY は、S&P Global の一部門である Standard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標です。DOW JONES、DJ、DJIA および DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの登録商標は、その他と一緒に S&P Dow Jones Indices LLC にライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLC の書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P Dow Jones Indices LLC、S&P、S&P Trucost Limited、SAM（S&P Global の一部門）、Dow Jones またはそれらの各関連会社（総称して「S&P Dow Jones Indices」）が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P Dow Jones Indices が提供するすべての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P Dow Jones Indices は、第三者にその指数をライセンス供与すること、およびカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものでもありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P Dow Jones Indices は、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P Dow Jones Indices は、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P Dow Jones Indices LLC は投資顧問会社ではなく、また S&P Dow Jones Indices はかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。見込み投資家は、投資ファンドの発行体またはその他の投資商品や手段により、またはそれらを代表して作成されている提供される覚書や類似の文書で詳述される通り、かかるファンドへの投資に伴うリスクを慎重に考慮した後に限り、かかるファンドやその他の手段へ投資することが推奨されます。S&P Dow Jones Indices LLC は税金の顧問会社ではありません。免税証券のポートフォリオへの影響や特定の投資決断の税効果の評価は、税務顧問会社に相談してください。指数に証券が含まれることは、S&P Dow Jones Indices がかかる証券の売り、買い、またはホールドの推奨を意味するものではなく、投資アドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容（指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット）またはそのいかなる部分（「内容」）も、S&P Dow Jones Indices による事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。S&P Dow Jones Indices およびその第三者データプロバイダーならびにライセンサー（総称して「S&P Dow Jones Indices 当事者」）は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices 当事者は、理由に関係なく、内容の

利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。**S&P DOW JONES INDICES** 当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。**S&P Dow Jones Indices** 当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても（逸失収入または逸失利益、および機会費用を含むがこれに限定されない）、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Global は、その様々な部門および事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、**S&P Global** の特定の部門および事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。**S&P Global** は、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針および手順を確立しています。

さらに、**S&P Dow Jones Indices** は、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関および金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する必要がある証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

世界産業分類基準（**GICS®**）は、**S&P** と **MSCI** によって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。**MSCI**、**S&P**、および **GICS** 分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類（またはそれを利用することで得られる結果）に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者はすべて、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性のすべての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、**MSCI**、**S&P**、その関連会社または **GICS** 分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害（逸失利益を含む）について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。